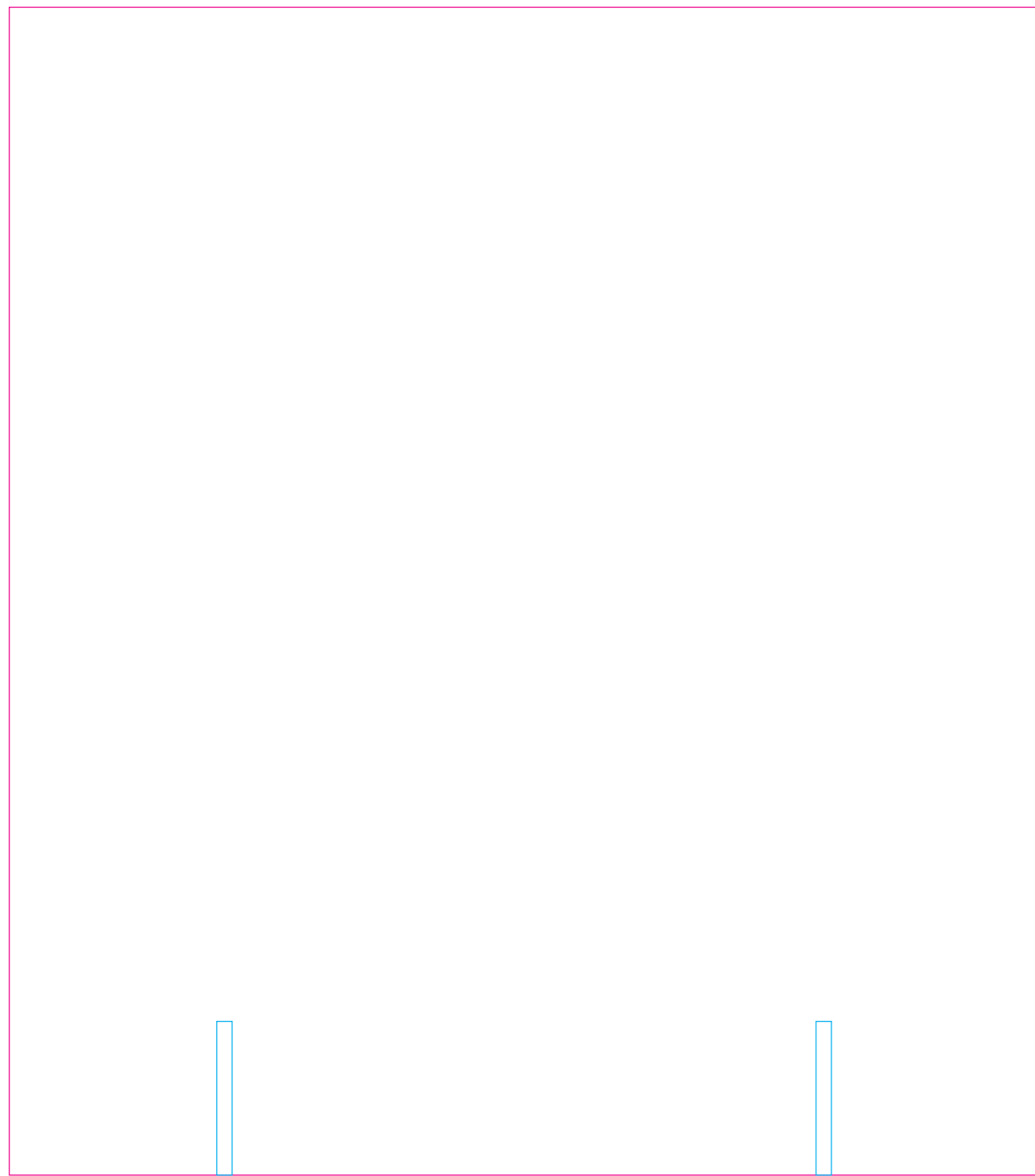


アクリル漫画スタンド

①正面スタンド

仕上がり最大サイズ

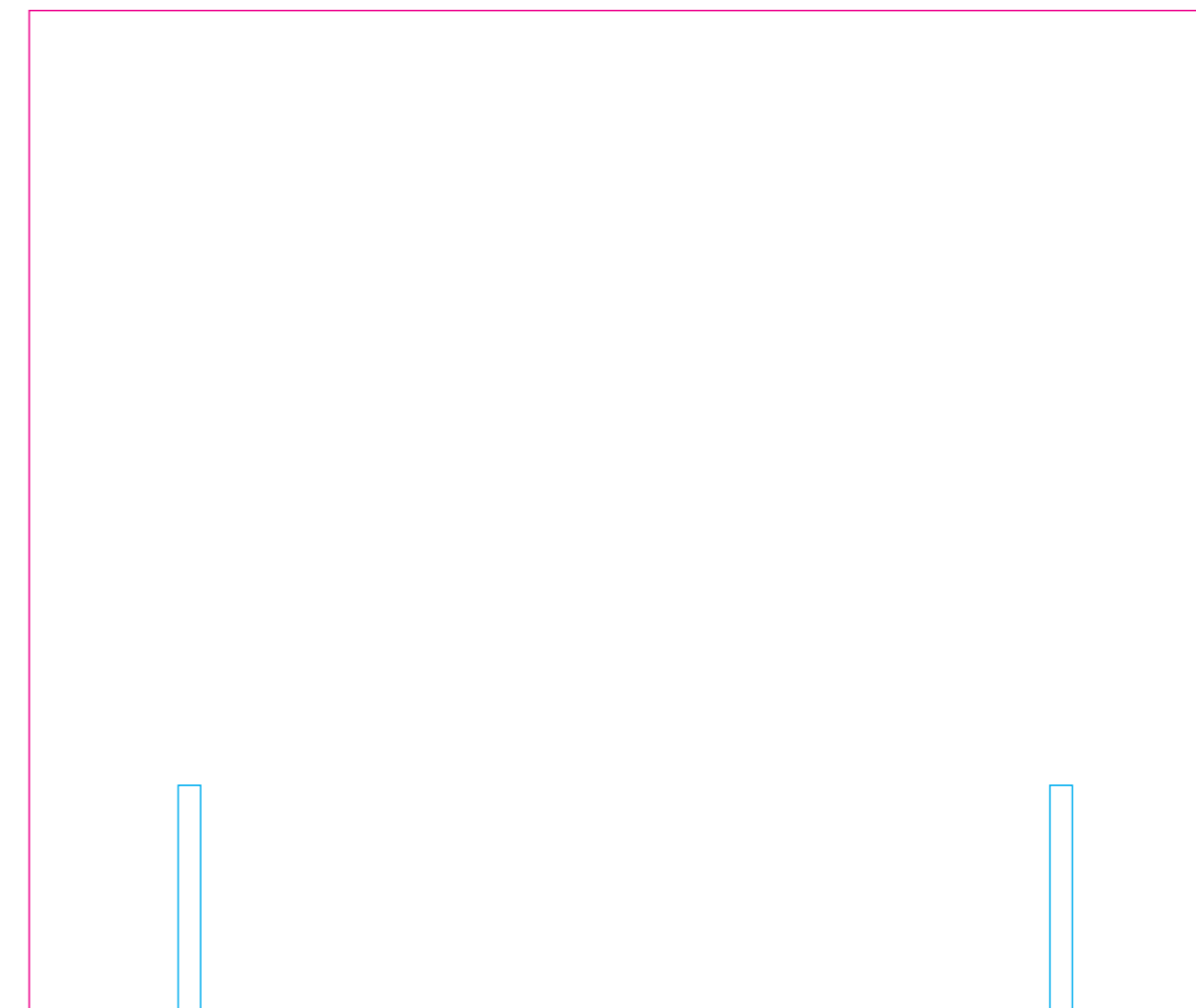


手順①

W201×H228mm

②背面スタンド

仕上がり最大サイズ

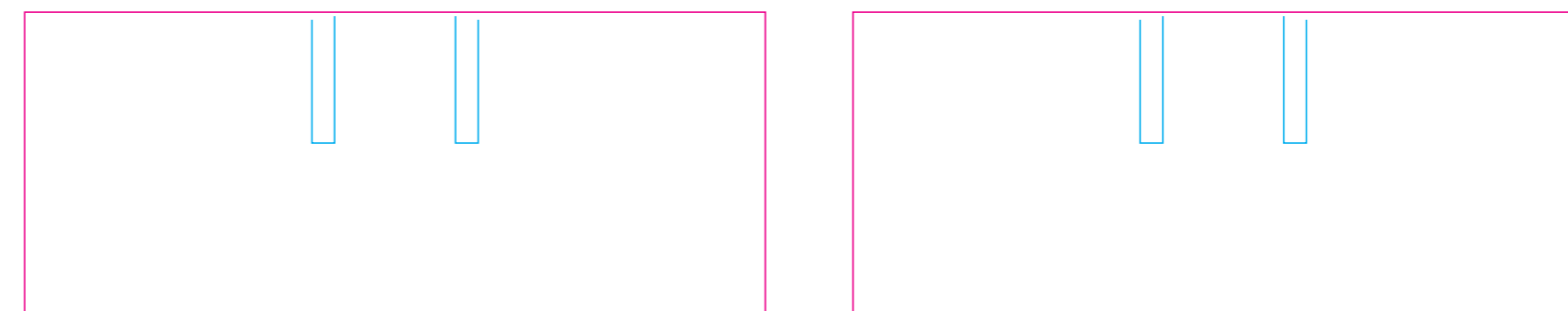


手順①

W160×H134mm

③足パーツ

仕上がり最大サイズ



手順②

W98×H40mm(1個あたり)

手順①: スタンドさせる物の横幅に合わせて、①正面スタンドと②背面スタンドの切込み位置を設定してください。

手順②: スタンドさせる物の厚みに合わせて、③足パーツの切込み位置を設定してください。

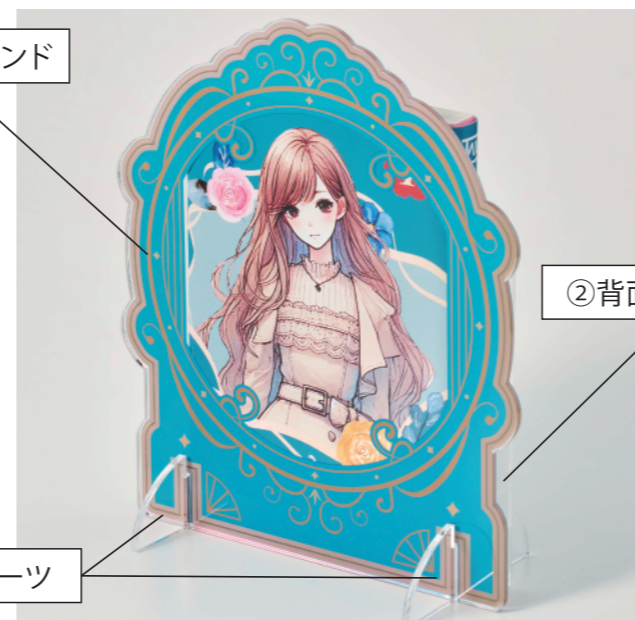
手順③: 仕上がり最大サイズの中に、お好きなデザインを当て込みください。

※注意事項※

- 切込みの位置は、端から10mm以上内側に設定ください
- 切込み同士の幅は、スタンドさせる物のサイズより、少しだけ余裕を持たせてください。
- デザインによっては、自立がしにくかったり、スタンドから内容物が飛び出して見える事がありますので、ご注意ください
- 足パーツの形状を変更する際は、切込み位置と合わせて、切込みの深さも変更ください。
- 勘合やレイアウト確認の為、必ず校正を作成ください。

作成例、パーツ名称

①正面スタンド

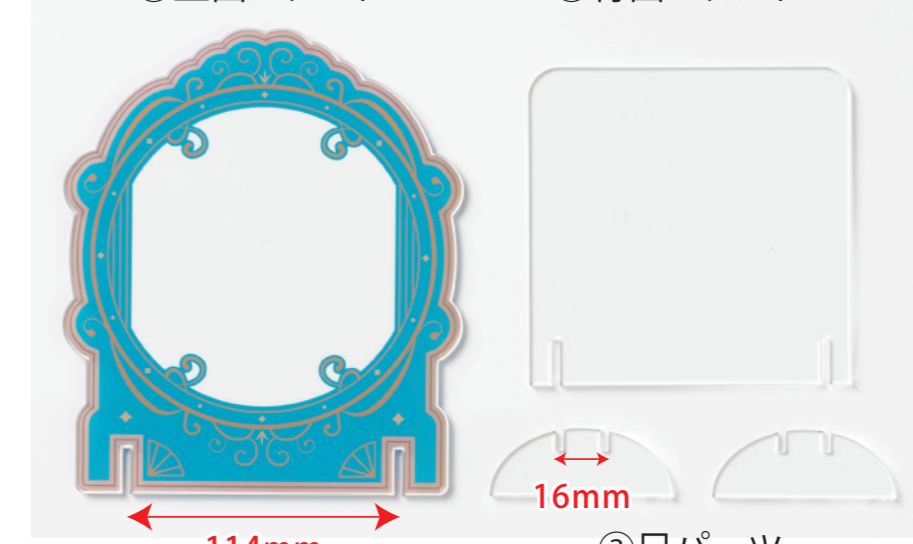


②背面スタンド

③足パーツ

①正面スタンド

②背面スタンド



③足パーツ



漫画サイズ: W112×H172×D15(mm)
 正面スタンドサイズ: W181×H206×D3(mm)
 背面スタンドサイズ: W140×H134×D3(mm)
 足パーツサイズ(1個あたり): W80×H30×D3(mm)

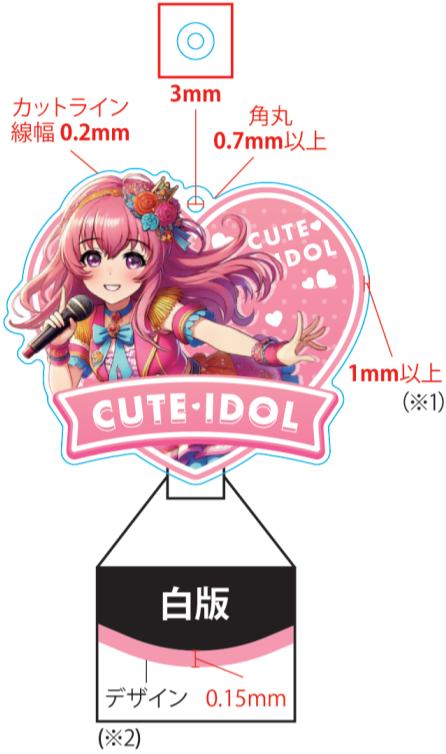
データ制作の注意事項

⚠️ 必ずお読みください!

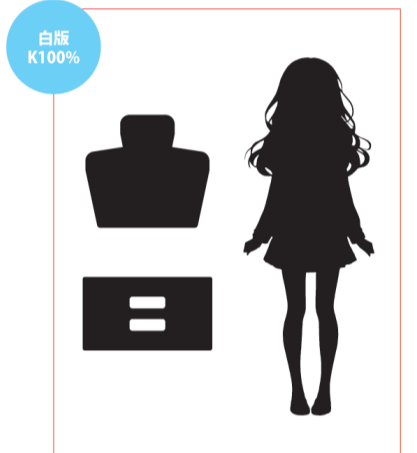
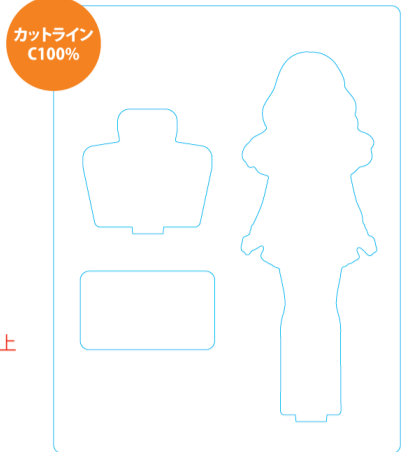
●アクリルキーホルダー作成例



通し穴のパスはサイズや形状を変更しないでください。



●アクリルキースタンド作成例

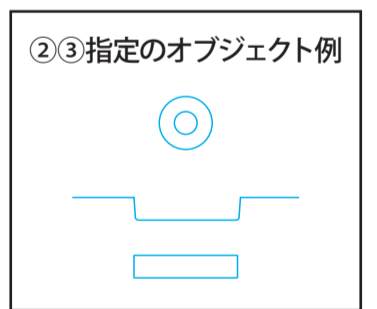


1:入稿データ制作上の注意点

- ① Adobe Illustrator 形式のデータのみ対応しております。保存時のバージョンはCS5で保存ください。
- ② フォントデータは必ずアウトライン化をお願いします。
- ③ 画像は埋め込みしてください。
- ④ スウォッチや効果は必ず【分割・拡張】または【ラスタライズ】をしてください。
- ⑤ カットラインは通し穴も含めて仕上がり最大サイズ (マゼンタの枠) の中に収まるサイズで作成してください。
- ⑥ カットラインデータは「カットライン」、絵柄・デザイン部分は「デザイン」、白インクでの印刷部分は「白版」と、それぞれレイヤーに分けたデータ制作を必ずお願いします。
※本テンプレートのレイヤーは削除・併合などせず、すべて残したままご入稿ください。
※入稿データがそのまま印刷に反映されます。データ不備が無いよう、作成時には十分ご注意ください。

2:カットデータ作成時の注意点

- ① 鋭角 (とがった角) 部分は、必ず曲線で作成してください。
 - ② ストラップを通す部分には必ず指定のオブジェクトを使用してください。それ以外で作成した場合、ストラップが通らない可能性があります。
 - ③ 差し込み口、差し込み部分には必ず指定のオブジェクトを使用してください。それ以外で作成した場合、差し込み口に、差し込み部分ははまらない可能性があります。
 - ④ 複雑なパスはカットが出来ない可能性があります。
 - ⑤ アンカーポイントは重なり合わないよう注意してください。カットの際にえぐれたような感じになります。
 - ⑥ 複合シェイプを使用してカットラインを作成された場合、拡張し、パスを結合させてください。
- ※上記①～⑤のデータ不備については、場合によっては工場では自動的にデータ調整させていただきますので、予めご了承ください。



3:絵柄・デザイン部分の注意点

- ① カラーはCMYKモードで作成してください。それ以外のカラーモードで作成された場合、想定の色とは違う色になる可能性があります。
- ② カットラインから1mm以上内側に収まるように作成してください。(※1)
- ③ 画像データは全て解像度350dpi以上をお願いします。
- ④ 面付けの際に絵柄を反転・回転する場合があります。透明効果やパターンの絵柄が反転・回転した際に、変わる可能性のある部分はラスタライズ処理をお願いします。

4:白版部分の注意点

- ① 白版が無い場合は4C版から作成してください。白版データはK100%データとなります。
- ② 必ず絵柄・デザイン部分より白版部分が0.15mm以上内側に収まるようにしてください。(※2)
- ③ 白インクの濃度はデータの色の濃度がそのまま反映されるので注意してください。
- ④ 白版を4C版から作成する場合、ピンホールが出来る場合があります。ピンホールは塗りつぶして無くすようお願いします。
※アクリル板は透明なため、白版を作成しない部分は透けた仕上がりになります。
※上記②のデータ不備については、場合によっては工場では自動的にデータ調整させていただきますので、予めご了承ください。